

Alibaba Cloud Dedicated Host

プロダクト紹介

Document Version20190702

目次

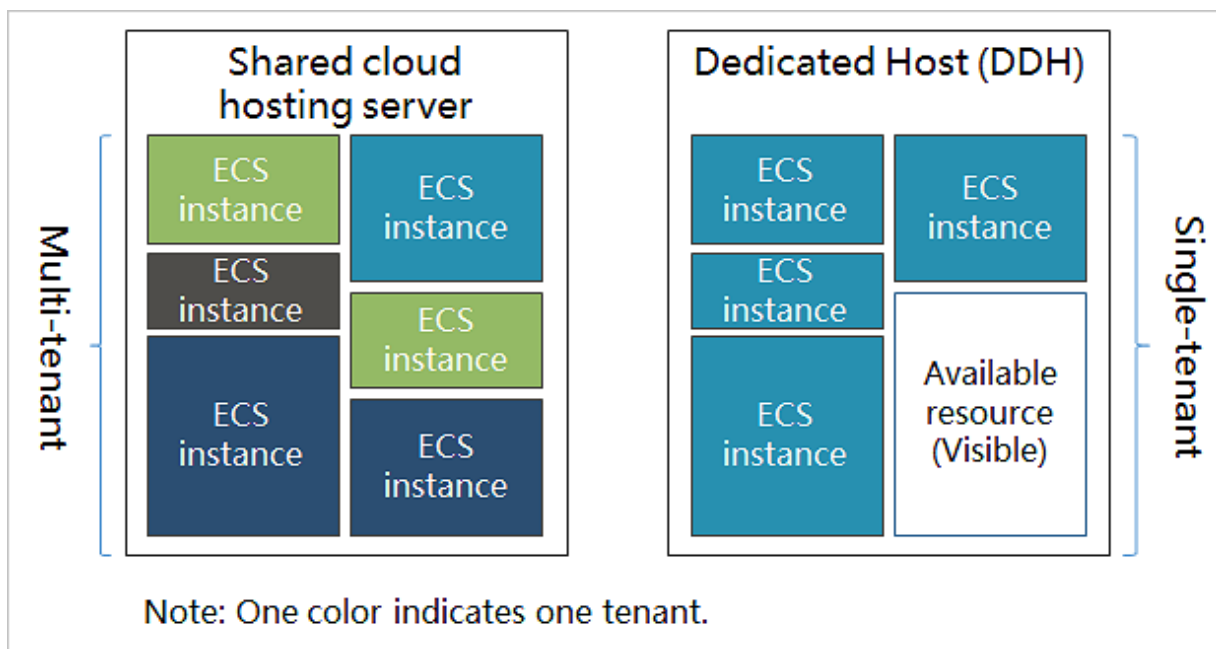
1 Dedicated Host とは.....	1
2 シナリオ.....	3
3 利点.....	4
4 Dedicated Host タイプ.....	6
5 DDH のライフサイクル.....	8
6 制限事項.....	9
7 用語集.....	11
8 異なるホストでの ECS 機能の比較.....	12

1 Dedicated Host とは

ここでは、Dedicated Host の基本概念および Dedicated Host と共有クラウドホスティングサーバーとの違いについて説明します。

Alibaba Cloud *Dedicated Host (DDH)* は、他のテナントと共有せず、物理サーバーを完全に制御できる専用のクラウドホストです。ソケット数、物理 CPU コア数、メモリサイズなど、すべての物理サーバーの属性を可視化できます。*Dedicated Host タイプ*によって、DDH で作成できる ECS インスタンスタイプファミリーが決まります。

DDH と共有クラウドホスティングサーバーとの違いを次に示します。



基本概念

DDH 関連の基本概念については、「用語集」をご参照ください。

課金方法と料金

課金方法として、サブスクリプションがサポートされています。詳細は、「料金の概要」をご参照ください。

関連サービス

DDH で作成された ECS インスタンスでは、共有クラウドホスティングサーバー上の ECS インスタンスと同じ Alibaba Cloud サービスを使用できます。詳細は、「ECS とは」をご参照ください。

DDH 上の ECS インスタンスと共有クラウドホスティングサーバー上の ECS インスタンスの機能の違いについては、「[異なるホストでの ECS 機能の比較](#)」をご参照ください。

操作

DDH の管理については、「[制限事項](#)」をご参照ください。

[ECS コンソール](#) から DDH を管理できます。

- ・ [DDH の作成](#)
- ・ [DDH 上の ECS インスタンスの作成](#)
- ・ [DDH 間の ECS の移行](#)
- ・ [共有クラウドホスティングサーバーから DDH への ECS の移行](#)
- ・ サブスクリプションの DDH では、課金方法を[従量課金からサブスクリプションに変更できます。詳細は、「[従量課金からサブスクリプションへの課金方法の切り替え](#)」をご参照ください。
- ・ サブスクリプションの DDH の場合、[自動更新](#)または [手動更新](#)を行うことができます。

2 シナリオ

DDH を使用することで、ビジネスを柔軟に展開できる場合があります。また、ビジネスの安全性とコンプライアンスが保証され、クラウド移行コストを削減できます。

DDH は次のようなシナリオに最適です。

- ・ BYOL (Bring-Your-Own-Licen-USse)

ソケット単位、コア単位、VM 単位でソフトウェアライセンスを所有している場合は、物理サーバーで使用する場合と同様に、DDH でも使用できます (ただし、ライセンス条項によります)。DDH を使用することにより、ビジネスをクラウドに移行する際のコストを削減できます。対象となるライセンスには、Microsoft Windows Server、Microsoft SQL Server などのソフトウェアライセンスがあります。

- ・ 厳格な法令遵守

DDH は、物理サーバーのリソースを完全に制御でき、物理サーバーレベルで物理的な分離が可能のため、厳格な法令遵守を必要とするビジネスに最適です。さらに、ビジネス実行環境の規制要件を満たすため、特定の DDH 上に ECS インスタンスを作成することもできます。

- ・ パフォーマンスの安定性

ゲーム業界のような一部のビジネスでは、高い処理能力とサーバーの安定性が求められます。DDH は、CPU と I/O の安定性を保証し、ビジネスのパフォーマンスを確実なものにします。

- ・ デプロイメントの柔軟性

指定した DDH で ECS インスタンスを作成することができます。また、DDH 間で ECS インスタンスを移行したり、共有クラウドホスティングから DDH に ECS インスタンスを移行することもできます。柔軟なデプロイメントにより、アプリケーションの配置を細かく調整できます。

3 利点

DDH を使用することで、クラウド移行やビジネス展開のコストを削減できるほか、厳格な法令遵守の要件を満たすことができます。

DDH は、Alibaba Cloud が提供する仮想サービスプラットフォームを基盤とし、単一テナントでの実行環境を提供します。これにより、物理サーバーのすべてのリソースを完全に制御し、同時にクラウドサービスの柔軟性と弾力性を活用することができます。DDH 上に作成されたすべての ECS インスタンスは、共有クラウドホスティングサーバー上の ECS インスタンスと同じ機能とパフォーマンスを備え、簡単にデプロイし使用できます。ECS についての詳細は、「[ECS とは](#)」をご参照ください。

共有クラウドホスティングの ECS と比較すると、DDH 上の ECS には次の利点をもたらします。

- ・ 物理サーバーのリソースを他のテナントと共有する必要はありません。
- ・ 高いセキュリティを保証することができます。
- ・ 企業は厳しい規制遵守の要件を満たすことができます。
- ・ 所有するライセンスを Alibaba Cloud に持ち込むことができます。
- ・ 独自のビジネス要件に合わせて、サーバークラスターをデプロイできます。

詳細については、次の表をご参照ください。

項目	Dedicated Host 上の ECS	共有クラウドホスティング上の ECS
分離	物理的な分離 CPU、メモリ、ネットワークなどのリソースが物理サーバーレベルで分離されるため、より高いセキュリティが保証されます。	仮想的な分離 リソースは仮想マシンレベルで分離されます。テナントは、ネットワークやメモリなどのホストリソースを共有します。

項目	Dedicated Host 上の ECS	共有クラウドホスティング上の ECS
規制遵守	<p>厳格な規制遵守</p> <p>Dedicated Host は、特定の物理サーバー上にインスタンスを配置し、ホストの物理的属性を表示することで、より詳細な可視性ときめ細かい制御を実現します。これにより、業界固有のビジネスコンプライアンス要件や規制要件(金融規制など)を満たすことができます。</p>	<p>一般的な規制遵守</p> <p>複数のテナントが物理サーバーのリソースを共有します。</p>
Bring-Your-Own-License (BYOL)	<p>サポートあり</p> <p>マシンのシリアル番号、ソケット数および物理 CPU コア数が可視化され、クラウド上で既存のソフトウェアライセンスを使用できるため、ビジネスをクラウドへ移行する際のコストを削減できます。</p>	<p>サポートなし</p> <p>物理サーバー情報の可視性は下回ります。</p>
デプロイメントの柔軟性	<p>特定の物理サーバーにアプリケーションをデプロイできます。</p> <p>指定した DDH で ECS インスタンスを作成したり、共有クラウドホスティングから DDH に ECS インスタンスを移行したりすることができます。</p>	<p>不特定のサーバーにアプリケーションをデプロイします。</p> <p>物理サーバーを指定して、アプリケーションをデプロイすることはできません。</p>

4 Dedicated Host タイプ

Dedicated Host タイプによって、ECS インスタンスタイプファミリーと、DDH 上に作成できる ECS インスタンス数が決まります。

Dedicated Host タイプは、DDH の物理コア、ソケット、メモリおよびローカルディスクの構成を定義するシナリオに基づいて決定されます。Dedicated Host タイプは、共有ホスト上の ECS インスタンスで使用されるシナリオに基づいて決定されます。リソースの許す限り、許容されるタイプファミリーの ECS インスタンスを DDH 上に作成し、さまざまなインスタンスタイプを柔軟に組み合わせることができます。たとえば、ネットワーク性能を強化したコンピューティング最適化タイプの DDH では、sn1ne のすべての ECS インスタンスタイプを作成できます。ECS インスタンスタイプファミリーの詳細については、「『ECS (Elastic Compute Service)』」をご参照ください。DDH で実行されているすべての ECS インスタンスにおいて、DDH のパケット転送速度と帯域幅容量を超えないようにしてください。各インスタンスタイプのネットワークパフォーマンスについては、「[インスタンスタイプファミリー](#)」をご参照ください。

現時点で、使用可能な Dedicated Host タイプは、次の表のとおりです。

Dedicated Host タイプ	ネットワーク性能を強化したコンピューティング最適化タイプ	ネットワーク性能を強化した汎用タイプ	ネットワーク性能を強化したメモリ最適化タイプ	汎用タイプ	コンピューティングタイプ	メモリタイプ	ローカル SSD ディスクタイプ
ECS インスタンスタイプファミリー	sn1ne	sn2ne	se1ne	g5	c5	r5	i2
CPU 数 (ソケット)	2	2	2	2	2	2	2
物理 CPU モデル (2.5 GHz)	Intel Xeon E5-2682 v4 (Broadwell)	Intel Xeon E5-2682 v4 (Broadwell)	Intel Xeon E5-2682 v4 (Broadwell)	Xeon Platinum 8163 (Skylake)	Xeon Platinum 8163 (Skylake)	Xeon Platinum 8163 (Skylake)	Xeon Platinum 8163 (Skylake)

物理 CPU コア	32	32	32	48	48	48	48
vCPU コア	56	56	56	84	86	86	80
メモリ (GiB)	112	35	448	336	172	688	640
ローカル SSD ディスク (GiB)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	17880
帯域幅 (Gbit/s)	10	10	10	25	25	25	25
パケット転送速度 (1,000 pps)	4,500	4,500	4,500	550	550	550	550

vCPU コア = 物理 CPU コア * 2 - ホストで予約された vCPU コア

ローカル SSD ディスクの詳細については、「『ECS プロダクト紹介』」の「[ローカルディスク](#)」をご参照ください。

DDH で実行されているすべての ECS インスタンスにおいて、DDH のパケット転送速度と帯域幅容量を超えないようにしてください。各インスタンスタイプのネットワークパフォーマンスについては、「[インスタンスタイプファミリー](#)」をご参照ください。

5 DDH のライフサイクル

ここでは、DDH の作成からリリースまでのすべてのステータスについて説明します。

DDH のライフサイクルは、作成と同時に開始し、リリースで終了します。次の表に、DDH の各種ステータスを示します。

ステータス	属性	説明	コンソール表示
起動中	一時的	DDH は作成中で、実行中になる前のステータスです。DDH が長時間このステータスの場合、例外が発生します。	あり
実行中	定常的	DDH は正常に実行されています。このステータスの DDH では、ECS インスタンスの作成と管理を行います。	あり
エラー	定常的	DDH にエラーが発生しました。 チケットを起票 し、サポートセンターへお問い合わせください。	あり
期限切れ	定常的	サブスクリプションの DDH の期限が切れた場合、このステータスになります。サブスクリプションの DDH を更新する必要があります。これにより、ステータスは期限切れから実行中に変わります。更新の詳細については、「 手動更新 」をご参照ください。	あり
リリース済み	定常的	期限切れにより サブスクリプション DDH がリリースされた場合、このステータスになります。DDH がリリースされると、すべてのリソースは使用できなくなります。	なし

6 制限事項

DDH には次の制限事項があります。



注：

DDH で ECS インスタンスを使用している場合は、以下の制限に加えて、ECS の制限も考慮する必要があります。詳細は、「『ECS (Elastic Compute Service)』」の「[制限事項](#)」をご参照ください。

項目	制限	より高度な設定、または制限の解除
DDH を作成する権限	中国本土のリージョンに DDH を作成するには、 実名登録 が必要です。	サポートされていません。
サポート対象のネットワークタイプ	VPC (Virtual Private Cloud)。VPC の詳細については、「 VPC とは 」をご参照ください。	サポートされていません。
DDH と ECS インスタンスの課金方法の関係	サブスクリプション DDH：従量課金 ECS インスタンスとサブスクリプション ECS インスタンスの両方	サポートされていません。
サブスクリプション DDH 上にあるサブスクリプション ECS インスタンスの設定	ECS インスタンスの有効期限を DDH の有効期限より後にはできません。	サポートされていません。
サブスクリプション DDH 上のサブスクリプション ECS インスタンスの自動更新	自動更新後の ECS インスタンスの有効期限を DDH の有効期限より後にはできません。自動更新の期間がこのルールに反する場合、自動更新は失敗します。	サポートされていません。
DDH 上の ECS インスタンスの課金方法の変更	サブスクリプション DDH 上の従量課金 ECS インスタンスの場合は可能です。変更後の ECS インスタンスの有効期限は、DDH の有効期限よりも後にはできません。	サポートされていません。

項目	制限	より高度な設定、 または制限の解除
DDH の課金方法の変更	サポートされていません。	サポートされていません。
共有クラウドホスティング と DDH 間の ECS インスタ ンスの移行	従量課金 ECS インスタンスのみ、移行できま す。サブスクリプション ECS インスタンスと プリエンプティブルインスタンスは移行できま せん。	サポートされてい ません。
DDH 間の ECS インスタ ンスの移行	同一アカウントで、同じ <i>Dedicated Host タイ プ</i> の DDH 間でのみインスタンスを移行できま す。ローカル SSD ディスクを持つ DDH 上の ECS インスタンスは移行できません。	サポートされてい ません。

7 用語集

ここでは、DDH の基本概念について説明します。

DDH 関連の用語は次のとおりです。


用語	説明
Dedicated Host	略称は DDH。リソースを完全に制御できる物理サーバー。これにより、物理サーバーレベルで、テナントを物理的に分離できます。詳細は、「 Dedicated Host とは 」をご参照ください。
テナント	Dedicated Host のリソースを完全に制御できる Alibaba Cloud アカウント。Alibaba Cloud アカウントは複数の RAM ユーザーを持つことができます。RAM ユーザーの詳細は、「 RAM とは 」をご参照ください。
Dedicated Host タイプ	物理コア、ソケット、ローカルディスク、仮想 CPU (vCPU) コア、およびメモリを含む Dedicated Host の構成。Dedicated Host タイプは、ビジネスシナリオに従って定義されます。詳細は、「 Dedicated Host タイプ 」をご参照ください。
リージョン	物理サーバーが配置されているデータセンターの物理的な場所。詳細は、「 リージョンとゾーン 」をご参照ください。
ECS (Elastic Compute Service)	Alibaba Cloud によって提供される基本的なクラウドコンピューティングサービス。詳細は、「 ECS とは 」をご参照ください。
ECS インスタンス	共有クラウドホスティングまたは Dedicated Host 上のクラウドサーバー。仮想マシンとして動作する仮想コンピューティング環境です。CPU、メモリ、オペレーティングシステム、ネットワーク、ストレージを含む基本的なコンピューティングコンポーネントで構成されています。詳細は、「 ECS インスタンスの概要 」をご参照ください。
ECS コンソール	ECS と DDH を管理するための Web アプリケーション。


8 異なるホストでの ECS 機能の比較

DDH 上で実行される ECS インスタンスと共有ホスティングサーバー上で実行される ECS インスタンスには、相違点があります。

DDH 上で実行される ECS インスタンスと共有ホスティングサーバー上で実行される ECS インスタンスには、次の表に記載されているものを除き、同じ機能を備えています。

項目	共有クラウドホスティング上の ECS	Dedicated Host 上の ECS
ネットワークタイプ	VPC およびクラシックネットワーク。詳細については、「 ネットワークタイプ 」をご参照ください。	VPC
課金可能なリソース	「 料金の概要 」をご参照ください。	詳細については、「 DDH での ECS リソースの課金 」をご参照ください。
課金方法	サブスクリプション、従量課金、スポット。	サブスクリプション
更新期間	ビジネスニーズに応じて更新期間を設定します。	更新後の ECS インスタンスの有効期限は、DDH の有効期限よりも前にする必要があります。詳細については、「 制限事項 」をご参照ください。
停止済みインスタンス非課金化 (VPC 接続)	詳細については、「 停止済み VPC インスタンスの非課金化 」をご参照ください。	停止インスタンス非課金モードでは、vCPU やメモリなどのコンピューティングリソースは保持されますが、他の ECS リソースは引き続き課金されます。詳細については、「 DDH での ECS リソースの課金 」をご参照ください。

項目	共有クラウドホスティング上の ECS	Dedicated Host 上の ECS
従量課金からサブスクリプションへの切り替え	詳細については、「 従量課金からサブスクリプションへの切り替え 」をご参照ください。機能制限の条件を満たしている必要があります。	この機能のすべての制限に加え、切り替えができるのは、サブスクリプション DDH 上で実行される ECS インスタンスのみです。また、切り替え後の ECS インスタンスの有効期限を DDH の有効期限よりも後にすることはできません。
ECS インスタンスタイプ	詳細については、「 ECS インスタンスの概要 」をご参照ください。	Dedicated Host タイプによって決定されます。詳細については、「 Dedicated Host タイプ 」をご参照ください。
ECS インスタンスの作成	詳細については、「 インスタンスの作成 」をご参照ください。	詳細については、「 DDH 上での ECS インスタンスの作成 」をご参照ください。
インスタンス設定の変更	詳細については、「 インスタンス設定のアップグレードとダウングレード 」をご参照ください。	サポートされていません。
インターネット帯域幅の調整	詳細については、「 インターネット帯域幅の調整 」をご参照ください。	<p>詳細については、「インターネット帯域幅の調整」をご参照ください。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;"> <p> 注： インターネットの帯域幅を調整している間は、サブスクリプションインスタンスの設定を変更することはできません。</p> </div>

項目	共有クラウドホスティング上の ECS	Dedicated Host 上の ECS
パブリック IP アドレスの割り当て	詳細については、「 パブリック IP アドレスの割り当て 」をご参照ください。	<p>詳細については、「パブリック IP アドレスの割り当て」をご参照ください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p> 注： インターネットの帯域幅を調整している間は、サブスクリプションインスタンスの設定を変更することはできません。</p> </div>
ECS インスタンスのリリース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従量課金インスタンスは、自動または手動でリリースできます。詳細については、「インスタンスのリリース」をご参照ください。 ・ サブスクリプション ECS インスタンスが期限切れになった場合、または従量課金 ECS インスタンスが料金滞納のよりサービス停止になった場合、ECS インスタンスは自動的にリリースされます。 	サブスクリプション DDH が期限切れになり、更新されない場合、DDH 上の ECS インスタンスは自動的にリリースされます。